長野高校（国際教養科）シラバス

学校番号	321

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	「硬筆レッスン帳」　（教育図書）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・楷書から入り、篆書（篆刻）・行書・仮名の書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２ 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	書写と書道 (書体の変遷)	・国語科書写と芸術科書道 ・正式書体・略式書体「天」の字を使った書体の変遷 ・五書体を使って書として表現された文字に興味を持つ	○	○	○	○	a:書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。 d:書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
5 6	漢字の学習 (楷書)	・楷書の用筆、文字の形を学ぶ ・楷書の基本用筆 ・九成宮 ・孔子廟堂碑	○	○	○		a:楷書の成り立ち・歴史についての関心。 b:楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 c:楷書の基本用筆を理解し、臨書の楽しさを学ぼうとしている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
6 7	漢字の学習 (楷書)	・楷書の用筆、文字の形を学ぶ ・雁塔聖教序 ・顔子家廟碑	○	○	○		a:楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:楷書の基本用筆を理解し、臨書の楽しさを学ぼうとしている。 c:楷書にも古典によって用筆の違いがあることを学び、楷書の表現の多彩さを理解している。	観察 レポート ワークシート 提出作品
8	漢字の学習 (硬筆)	・楷書と行書 (夏期休業中の課題としても扱う。)	○	○	○	○	a:国語科書写の基礎的な能力を身に付け、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:国語科書写で身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c:国語科書写で身に付けた基礎的な技能を生かして表現している。 d:日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わっている。	観察 提出作品

9 10 11	篆刻 （姓名印づくり） 漢字の学習 （行書）	・自分の名前調べ （各書体） ・名前の朱文印の制作 行書の用筆、文字の形を学ぶ ・基本用筆 ・蘭亭序	○	○	○	○	a:名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c:唯一無二の自分の名前を石に刻する作業を通して、唯一無二の作品を作る喜びを感じている。 d:様々な石や銅の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。 a:行書の成り立ち・歴史についての関心。 b:行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 C 行書の基本用筆を理解し、臨書の楽しさを学ぼうとしている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
12	生活の中の書	・年賀状 ペン字 （冬期休業中の課題）	○	○			a:年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 b:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 提出作品
1 2 3	仮名の学習	仮名の用筆、文字の形を学ぶ ・基本用筆、 ・いろは単体 ・二文字連綿	○	○	○	○	a:仮名の美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b: ：基礎的・基本的な用筆を学び、漢字とは違う魅力を理解している。 c: 墨色・潤渇・連綿の美しさを理解し、表現している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。